

アプリケーションノート 9. 具材の有無の検査

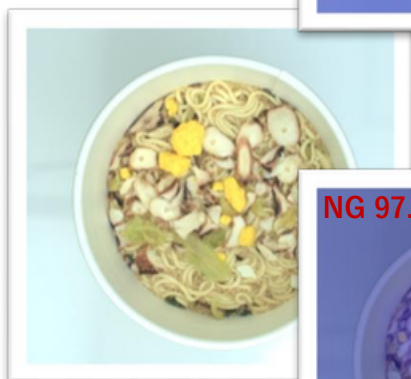
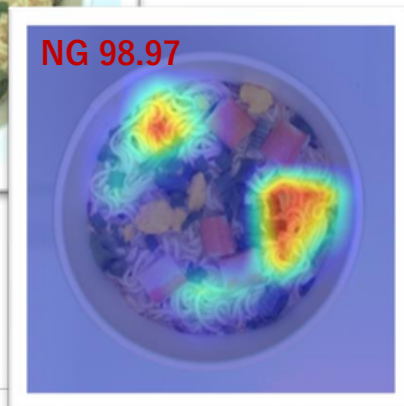
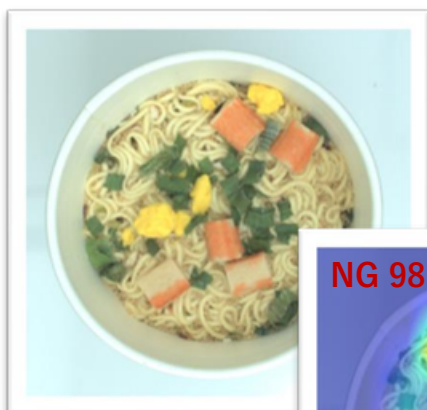
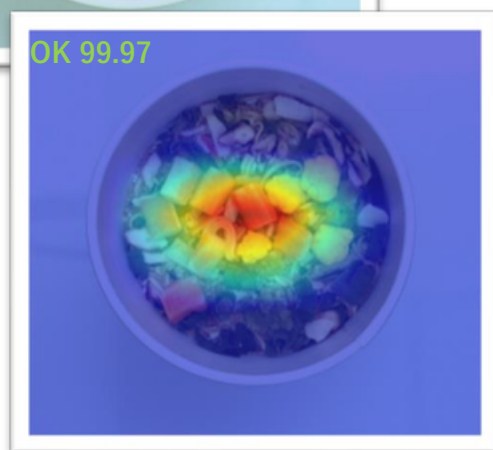
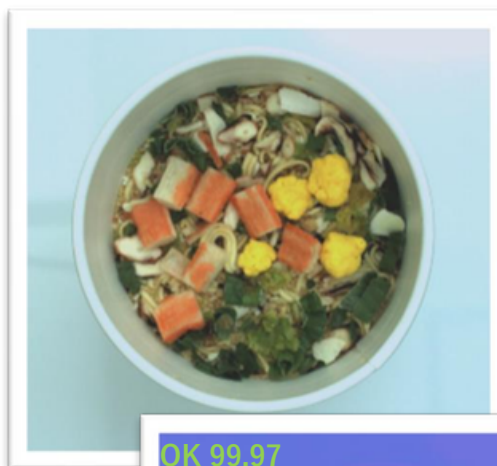
目視検査の問題点

人による検査の限界

人的検査の精度には限界があります。検査が長時間になると、眼の疲れなどからどうしても集中力が途切れてしまいます。そのため、検査の一貫性を維持する事が難しくなり、検査担当者により判断基準が異なってきます。

能力の不足

少子高齢化により労働力不足が深刻化し、人員確保が困難になっています。その結果、検査担当者の需要と供給が不安定になるため、オートメーション工程を通じて長期的に需給を安定させる必要があります。



ディープラーニングの利点

高い検査精度

ディープラーニングでは、実際の人間による検査と同等の水準で判定し、検査を行います。具材が不足している状態を学習し、複数通りの具材の不足やOK状態とは異なる状態のデータを蓄積し、判断します。

生産効率・品質の向上

ディープラーニングによって検査が自動化されることにより、ワークの流れを止めることなく高速での検査が可能となり高品質を保ちながら生産効率を高めることができます。

ADSTEC

株式会社エーディーエステック

〒273-0025 千葉県船橋市印内町568-1-1

Tel 047-495-9070 Fax 047-495-8809

<http://www.ads-tec.co.jp>

e-mail:sales@ads-tec.co.jp